

# Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより  
第58号

## ななえ古写真物語 VOL. 58

### 病院のさきがけ

「七重病院」

明治終わりごろ？

本町地区



nanae historical  
museum collection

七飯町における病院の歴史は明治初期にまで遡ります。それ以前は、漢方医が数名だけで、重病患者は函館の医療機関を利用していたそうです。明治7年、七重勸業試験場（七重官園）内に、官営の仮病院が開設され、地域住民も本格的な医療の恩恵を受けられるようになりました。その後、明治15年に湯地定基や広田千秋といった官園職員が発起して、この仮病院を村へ払い下げし「七重病院」となりました。

当時の衛生に対する思想はまだ低かったため、コレラが大流行した際には、注意喚起する条項を定めたり、無効の薬剤を販売し、私欲を肥やそうとすることを禁止するなど、村民の衛生に対する考え方を向上させるよう努めたといえます。

現在もそうですが、科学的な根拠もなく、風説や伝聞に流され、損をする人々が多くいたということなのでしょう。そのため明治32年頃からは、医師や警察官、村役人が講師となり、七飯、大中山、鶴野、藤城、峠下、軍川の各集落で集会を開き、村民の衛生思想の向上を図りました。その結果、各部落に衛生組合が誕生し、伝染病の発生予防や清潔検査などの活動が、広がりをみせました。

明治18年には、七重病院敷地内に函館病院付属脚気病室が2棟建設され、脚気患者の転地治療所として利用されていましたが、翌年に七重病院へ払い下げられ、脚気病室と名を変えて、これまでと変わらず運営しました。

七重病院では、食糧制度を向上させていたため、治療の成果も良好だったようですが、おそらくは、ななえという土地柄が、水に恵まれているだけではなく、風景が良いこと、高地で湿気が少ないなど環境的にも静養に向いているからだと思われます。そのため年々、夏から秋にかけて転地してくる脚気患者が増加していったといわれています。

このような脚気患者の増加、そして、創立当時の院舎が設備など不完全であったことから、七重病院では、明治29年に病舎を脚気病室に移して、病室そのほかを増築、規模を拡大し昭和3年に閉院するまで、通常患者や脚気患者の治療にあたっていました。七重病院が廃止されたあとは、個人の開業医を村医として囑託し、地域の治療を支えてきました。

明治初期、近代的な病院施設として開業した「七重病院」の記憶を伝えるのは、現在では写真だけとなりました。



**5日** 前期の「夜の博物館」最後講座「大沼の自然について」を町内でネイチャーガイドとして活躍されている金澤晋一氏を招いて開催しました。

金澤氏がフィールドで撮影した美しい写真をみながら、植物や動物の興味深い話や人がどのように自然に関わるべきかなどのお話を伺うことができ、ラムサール条約登録湿地となった大沼のこれからを考える良い契機となりました。



イモほりです！つかれる!!

**29日** ジュニア探検クラブ「収穫を楽しむ」と題して男爵薯の収穫とジャムづくりをしました。

まずは、荒地(?)と化した畑に鍬をいれ、イモ掘りです。すぐに、ごろごろとしたイモが出てきましたが、中には鍬で真っ二つにしてしまう子供も……。イモはふかしたり、ポテトチップスにして食べ、午後からは当館で栽培している「たむらりんご」を使ってジャムを作りました。あわただしいプログラムだったけど楽しめたかな？



きれいに、イモをあらいましょう。



りんごを切っています!

**30日** 親子体験「ふぁみりーでいみゅーじあむ」で月見だんごづくりに挑戦しました。

白玉粉や上新粉を使い、こねるところからはじめます。次に棒状にのばして、包丁で均等に切ります。それを手で丸めていくと団子の形になります。

今回は、団子をゆでた後、しょうゆを使って特製のタレをつくり、みたらし団子として食べました。

生地が、上手にまとまらなかったりとアクシデントもありましたが、みんな楽しそうに作っていました！おいしかったかな？



## 11月の予定

1	木
2	金
3	土 文化の日
4	日
5	月
6	火
7	水
8	木
9	金 ロビー観察コーナー「色々な種」
10	土
11	日
12	月
13	火
14	水
15	木
16	金
17	土 歴史講座「古文書への誘い」
18	日
19	月
20	火
21	水
22	木
23	金 勤労感謝の日
24	土 ジュニア探検クラブ
25	日
26	月
27	火
28	水
29	木
30	金

※11月の休館日はありません。

### 第三野草園拡張!

友の会の皆さんに、当館の第三野草園を拡張していただきました。手作業で大変だったと思います。本当にありがとうございました。



### 編集後記 ~tawagoto~

当館のホームページデザインを刷新しました。若い職員たちが、それぞれの得意分野で能力を発揮してくれたおかげで、わたしは偉そうにしているだけで済みました(笑)。まだまだ、改善する必要があるようですが、気分も新たに取り組んでいきたいと考えています。また、リアルタイムに当館の活動の様子を伝えたく、フェイスブックも運用開始しましたので、興味のある方はのぞいて「いいね」ボタンを押して頂ければ幸いです。(やまだひさし)

Richard ~ピチャリ~

第58号

平成24年10月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp